

国際協調

食品安全委員会は、海外のリスク評価機関と定期的に会合を持つなど積極的に連携強化に取り組んでおり、最新の情報と意見の交換等を行っています。

● 国際ワークショップ ～ヒト健康影響評価の精緻化に向けた評価技術の開発～

2018年11月14日、国際ワークショップ「ヒト健康影響評価の精緻化に向けた評価技術の開発 (Future Challenges in Developing Assessment Methodologies for Human Health Effects)」を開催しました。

ワークショップでは、欧州食品安全機関(EFSA)、米国食品医薬品局(FDA)、国立医薬品食品衛生研究所、岡山大学の専門家と共に、ヒト健康影響評価の精緻化に向けた評価技術の開発についての取組の現状と課題を共有し、今後の活用の方向性についてパネルディスカッションを行いました。



国際ワークショップ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20181114ik1>

● 国際機関の専門家会合への参加

1	JECFA / JMPR	
	●2018年6月12～21日 第86回 FAO/WHO合同食品添加物専門家会議(JECFA) [スイス]	
	●2018年9月18～27日 FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議(JMPR) [ドイツ]	
2	OECD	
	●2018年6月21・22日 農薬作業部会 [フランス] ●2018年6月26～29日 新規食品・飼料作業部会・ゲノム編集カンファレンス [フランス]	
3	その他	
	●2018年9月25～27日 レギュラトリーサイエンスに関する国際会合(GSRS)2018 [中国]	
	●2018年9月17日 食品中の化学物質のリスク評価手法に関する 国際リエゾングループ会合 [イタリア] ●2018年9月18日 リスクコミュニケーションに関する 国際リエゾングループ会合 [イタリア]	

● インド食品安全基準庁(FSSAI)との協力覚書締結(食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省、農林水産省)

食品安全委員会は、これまで、欧州食品安全機関(EFSA)、豪州・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、ポルトガル経済食品安全庁(ASAE)、フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)及びデンマーク工科大学(DTU)と協力覚書(MoC)を交換し、協力関係を構築してきました。

2018年10月29日、新たに、「インド食品安全基準庁

(FSSAI)及び食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省、農林水産省との間の食品安全分野における協力に関する覚書(MoC)」を締結しました。

今後、本協力覚書に基づき、食品規制の運用の明確化とよりよい食品安全の確保を図るため、情報交換とコミュニケーションのメカニズムを立ち上げる等、食品安全分野における技術的な協力の促進を図ってまいります。